

タイ・孤児スクールボランティアプログラム グループプログラム

出発日 7月24日から毎週火曜日(最終9月11日出発)
1週間(6泊7日)または2週間(13泊14日)の参加



子供たちとの挨拶もこれで大丈夫！

人々が胸の前で手を合わせてにっこり微笑んでくれる。タイではよくそういう情景に遭遇しますが、このジェスチャーは「ワイ」と呼ばれる挨拶です。手を合わせる位置によって目上の人や国王や僧侶に対するワイと、さまざまですのでタイの人々がお互いにワイを交わす様子を見てちょっと学んでみましょう。これがあれば言葉がわからなくても気持ちが伝わるのでぜひ覚えておきたいですね。

● タイはどんなところ？

その昔「シャムの国」と呼ばれ、13世紀中ごろに君主国として独立してから今にいたるまでの約800年というもの、東南アジアにおいては珍しく他国から支配されたことがなく、華麗な独自文化が連綿と息づいてきた歴史ある王国、タイ。荘厳な寺院に優雅な古典舞踏、美しく繊細な工芸品などに垣間見える伝統の数々は、見る人をひきつけて離しません。



アユタヤの遺跡

滞在先の学校からはバスでおおよそ30分程度。バンコク市内からおおよそ専用車で1時間30分のところにあるのがアユタヤの町、ここに世界遺産があります。1350年から417年間、5つの王朝、35人の王が王国を築いた場所。度重なるビルマ軍との戦いにより1767年に陥落し、歴史が止まったままの現在の姿……。顔のない仏像や、顔だけ切り落とされた仏像、土台だけ残された寺院など破壊された姿からでも、アユタヤ王国がどれだけ偉大だったか肌で感じます。

● グループで活動するメリット

参加費用が、個人プログラムよりも安くなります。タイの場合は往復の交通費でしょう。タクシーで空港から派遣先の学校までおおよそ2時間の距離、個人参加だと、どうしても割高になります。また、参加者同士の横のつながりができ、より活動的に、楽しく滞在することができるのがメリットでしょう。

● ボランティア活動

ワットサケオスクール(孤児の学校)での活動内容はスタッフから指示を受けるものではありません。参加者自らどんどん活動を求めていく姿勢が必要です。基本は子供たちと楽しく遊ぶということです。

● 滞在は学校に併設されたボランティアのための専用宿舎です。

このプログラムに参加する方は学校の寮に滞在します。費用には13泊分の代金が含まれて居ます。一部屋を2名または3名でシェアします。同じ宿舎にお世話をしてくれる学校の先生も滞在します。

● タイの孤児スクールで感じたこと・・・(参加者ノートからの抜粋)

子どもたちに近づきたくて、ずっと一緒にいたくて、いられる時はいつも子どもたちのそばにいた。子どもたちも受け入れてくれた。中には懐いてこない子もいた。けれどこちらが諦めない限り、その子たちも受け入れてくれる。

この子どもたちは、歳や身長割には大人びた子どもが多い。やはり早く大人になってしまうのだろうか。

この場所で、様々な方々に出会った。子ども(生徒)たちも初め、先生方、現地のボランティアの方々、現地のメディアの方々にも。その出会いの中で、この場、この子どもたちに1番必要なものは何なのだろう。ずっと考えていたが、答えは出なかった。私たちボランティアも、ここにいて何になるのだろうか。そう思ったこともあった。

なぜならこの場所はすでに完成されていた。子どもたちはお互い支え合っているようだし、小さな子どもの面倒もみんなで見ている。とても可愛がっている姿に感動した。食事もそろっている。(たまになかったりするが)勉強する設備も整っている。(他と比べれば)けれど、何か子どもたちから欠けている。たまに見せる切なそうな顔が、頭から離れない。

小さな子どもはすぐに懐いてくれて、自分たちから甘えてきてくれたりするが、中高生くらいの子になるとなかなか難しい。『言葉』は大事だなと思う。後半、中学生以上の子と少し話したりしていたが、もう少し色々話したかった。今度来る時は、もう少しタイ語を覚えてこよう。言葉が違う場所で頼りになるのはスポーツだ。助けられた。体力もつけてこよう。今度来る時は、と書いたが、いつになるだろう。来年、すぐにでもまたここに来たい。あの子たちは大きくなっているだろうか。



女の子の寮です。



つつじ、いや、ブーゲンビリアです。



昼ごはんを出してくれるおばさんの店

みんなで一緒にクラフト作成に挑戦 思い出のコースターができました！



学校の寮の朝ごはん



大きな女の子たちの寮



ボランティアの宿舎

バリプログラムのコンセプトは「ボランティア」と文化体験です。バリならではのいろんな体験をしましょう。

● タイの孤児スクールで感じたこと・・・(参加者ノートからの抜粋)

3週間の生活が、今日終わります…。とても寂しいです。

今回私は、言葉がなくても伝わるものはあるのかを知りたいと思って来ました。その答えは見つかりました。子どもたちはたった3週間しかいない「イーブン」を拒むことなく、たくさんの子どもたちが関わってきてくれました。けれど、新たな課題も次々と出てきました。言葉のない状態で、子どもたちの気持ちをどう受け取るか。伝えたくても伝わらない苛立ちを、どう解消するか。関わりが深く

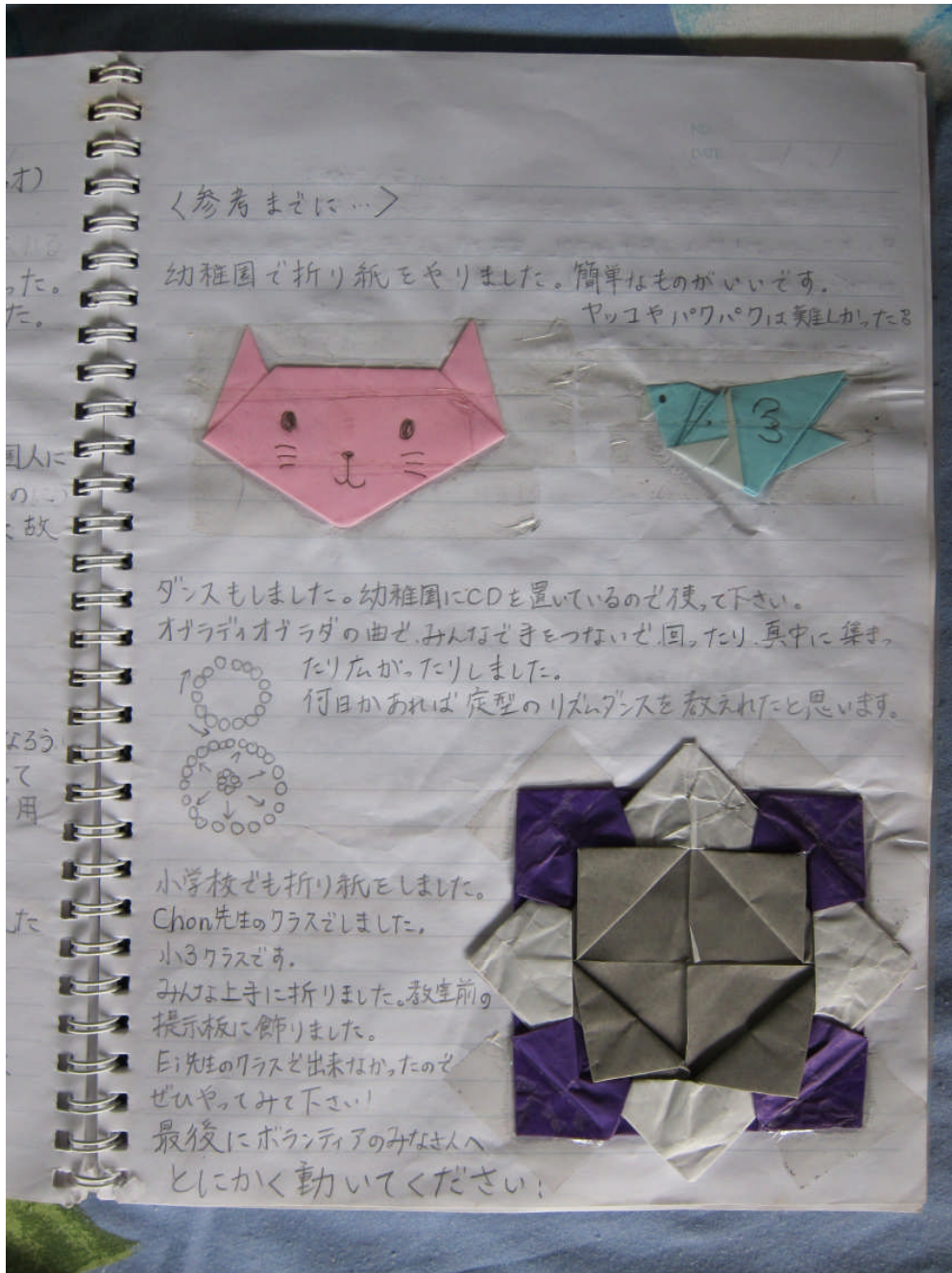
なっていく子どもたちとの距離のとり方。使える手段……日々悩みました。ボランティアとしての意味も考えました。

たった3週間しかない自分に、いったい何が出来るのか…。

結局はっきりした答えはみつきりませんでした。でも昨夜のお別れで、涙まで流してくれる子どもたちを見て、来て良かったなと思いました。本当は深入りせず、少し遠くから関わった方が子どもたちにとって良かったのかもしれませんが。まだまだ悩みはつきません。

ですが、私は今回のこの出会いに感謝します。こんなにも嬉しくて、こんなにも悲しい出会いに感謝します。

ありがとう！



参加者ノート（2011年の年末のタイの洪水の際に流されてしまいました・・・残念です）

● タイ孤児スクール・グループプログラム・スケジュール

DATE	午前	午後・夕刻
1	関西空港、成田空港から弊社指定の便で出発。対国際空港到着後、コーディネーターが空港でお迎えし一路ワットサケオへ	
2	孤児スクール「ワットサケオ」での活動の内容は完全に参加者自身にお任せしています。したがって、サンプルとなるようなものは載せることができません。参加者皆さん同士で、相談してもよいし、自分自身の特技などを利用して活動されてもよいです。	
12	担当の先生がいますので、「こんなことをしたい」と相談してください。快く了解してくれるでしょう。 いままで参加された方々は日本語、英語、スポーツ、遊び、アート、クラフト、コマ、アヤトリ、フリスビーなどいろいろなことをされました。	
13		深夜便で帰途へ
14	帰国	

<プログラムに参加する際の留意事項>

現地言葉は大事です。でも、タイ語を日本で勉強するのは時間とお金もかかります。だから、「旅の指差し会話帳・情報センター出版局」を事前に購入し、現地で子供たちにおそわりましょう。これが子供たちとコミュニケーションをとる最初の第一歩になるでしょう。大事な文章は1週間もあればある程度マスターできます！

お金は余裕を持って行ってください。現地で一緒になった人たちと遊びにいたり、先生の提案で旅行したりすることがあります。現地で資金不足になると、お金を借りることもできないのです。

事前にホームステイして、タイの文化と言葉を学んでから孤児スクールに行くこともできます。この場合にはグループプログラムにはなりません。より深くタイの文化を知ることができます。WEBのページを御覧ください。



活動するときには名札を用意しよう

以前参加されたかたからのアドバイス。
タイ語での自分の名前を先生に聞いて、名札にしておきましょう。子供たちがそれを見て、すぐに名前を覚えてくれますよ。

あと、タイの子供達の英語能力はそれほど高くはありません。先生の方々も英語を使える人は少ないので「タイ語で頑張ろう」という気持ちが必要です。



宿舎はいたってシンプルです（参加者からのアドバイス）

トイレはティッシュが使えました。水を流す時は、横に溜めてある水を使い流します。詰まらない様に気をつけていましたが、結局詰まり、最後の2週間はトイレを使う際は、わざわざ他の部屋まで行き使っていました。

お腹を壊している時は大変でした。シャワーは水しか出ませんが、冷たさはすぐに慣れます。シャワーから出る水の量は凄く少ないし、あちらこちらに飛び散り、洗うのにも時間がかかるので、翌日からは溜めてある水を使うようにしました。

募集要項

出発日 7月24日から毎週火曜日(最終9月11日出発)

プログラム参加費用	最小催行人数は2名です。(定員6名様) 募集人数に達した時点で募集を打ち切ります。
1週間 65,000円	
2週間 84,000円	

<プログラム費用に含まれるもの>

現地到着時の、タイ国際空港から学校までの送迎また、帰国時の学校から空港までの送迎
(個人のプログラムには含まれない、グループの特典です)
学校寮滞在費用(3食付)

滞在期間中の現地でのサポートに関して

現地の学校の先生が宿舎に泊まりこみでお世話をしてくれます。基本、英語での会話となります。

<プログラム費用に含まれないもの>

タイまでの往復航空券 (CECが手配する事も可能です)
海外旅行保険加入費用
観光地費用などの個人的費用

<お申込方法>

参加申込フォーム(CECのWEBを参照ください)から必要事項を入力いただき送信ください。申込金の20,000円はフォームの送信後3日以内にCECの口座までお振り込みください。申し込みフォームと申込金の到着を以って成立とさせていただきます。

申込の際の留意事項

- パスポートの残存期間が6ヶ月+2週間以上あることをお確かめ下さい。無い場合は更新ください。
- 未成年者の方は、保護者からの同意のメールやファックスなどをお送りいただきます。
- WEB上でプログラム参加条件をお確かめいただき、お申込みください。

お問合せは下記までお気軽にご連絡ください。

CEC ジャパンネットワーク



CEC Japan Network

532-03 大阪市淀川区宮原 1-16-2-604

Tel 06-6397-7030 e-mail info@cecj.net

<http://www.cecj.net>